



ヒットエア(衝撃緩和保護システム)は、バイク乗用の際、上衣として着用します。

転倒、衝突などによってライダーがバイクから一定の距離(※1)離れた瞬間に、キーボールが抜け、キーボックスが作動しカートリッジボンベの炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的にエアバッグが膨張します。その膨張した気室が、人体と外部の接触物の間に入り、衝撃を緩和する仕組みとなっています。このような特性を持って人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。

「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するというものではありません」

キーボールは、簡単に抜けられない仕組みになっており(キーボックス(P9)参照)走行時に予想される、ライダーのスタンディングなどの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。

(※1) 一定の距離とは、ヒットエアを着用し、ワンタッチコネクタを接合してバイクとつながった状態で、バイクに固定されている伸縮ワイヤーが何の障害(※2)もなく伸びきった状態の距離をいう。方向は前後左右を問わず同じである。

(※2) 障害とは、ヒットエアを着用し、ワンタッチコネクタを接合してバイクとつながった状態で、伸縮ワイヤーに障害物(車両、荷物、その他)などが触れたりからんだ場合の事をいう。これらの場合、一定の距離に至らなくても作動する事があります。

再生するには

一度作動したヒットエアシステムは、取扱店でメンテナンスサービスをして、再生させる事をおすすめします。ここに紹介するセッティング方法で、各自で再生する事はできますが、正しくセットしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮してお取り扱いください。

再生方法



- 異常有り** 取扱店に持ち込み、メンテナンスチェックにより、再生可能か確認してもらい指示を受ける
- 異常無し** 取扱店に持ち込み、必要な部品(カートリッジボンベ等)を交換して再生する
- 各自で再生する
※未使用カートリッジボンベと付属の再生工具(セッティングボルト、六角レンチ)が必要です

※附属品として六角レンチとセッティングボルトが付いています

各自で再生するおおまかな手順 詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

- 未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します (P15)1 参照
- キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします (P15)2-5 参照
- カートリッジボンベを外します (P15)6 参照
- エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します (P16)7 参照
- 未使用カートリッジボンベを取付けます (P16)9 参照
- キーボックスのカバーを締めて完了です (P16)10 参照

5

12



14

7

